

DPA (DWIDP) JICA 便り

防災対策アドバイザー (Disaster Prevention Advisor) 水資源省治水砂防局 (DWIDP)

No. 6 / 2007. 2. 28

こちらカトマンズでは昨年に比べ寒い冬のように感じます。14日にはカトマンズ市街地で62年ぶりといわれる雪が降りました。パタン市街では雪というよりはミゾレのように感じましたが、バクタプールなどでは積雪状態になったとのことで交通にも多少影響が出た模様です。



62年ぶりの降雪を伝えるカトマンズポスト紙
(写真はパタン ダルバールスクエアの降雪状況)

国内情勢については1月中旬から発生していたタライ地域での Terai People's Right Forum

(TPRF) 等による抗議活動(一部暴動も含む)に対して、7日には首相による声明発表があり、これを受け TPRF は10日間活動を休止しましたが、要求に対する政府の対応が不十分であるとして19日から活動を再開し、21日以降、タライ全域でのバンダ(強制交通等ゼネスト:21~23日)、入国税関所の封鎖(26日~3月5日)等が実施されています(予定含む)。また3月6日からはタライ全域での無期限のバンダが予定されています。本日28日は別の組織によってネパール全土のバンダが呼びかけられ、カトマンズ市内の交通はストップしている状態です。タライ地域の封鎖によりインド方面からの人・物資の輸送がストップしており、カトマンズ市内でも特にガソリン、ガス等エネルギー関係の物資の不足が顕著になるとともに米等の食料品などの価格が上がってきています。また電力不足のため実施されている計画停電がさらに強化され、1日あたり6~7時間の週40時間となっているなど生活に与える影響も大きくなっています。

今後とも安全に十分注意を払いつつ、ネパールの災害の軽減を図り、災害で苦しむ人々が少なくなることを願って活動をしたいと思います。ご指導・ご支援よろしくお願い申し上げます。

カスキ郡の土砂災害被災地の現地調査を実施しました

2月21日(水)から2月24日(土)の日程で、昨年7月15日未明に発生し死者28名を出したカスキ郡(Kaski District)の土砂災害被災地の現地調査を、DWIDPのトラダール砂防課課長(Dr.R.M.Tuladuhar:今年1月に地すべり課課長から異動)、ラジェンドラ技師(Mr.Rajendra.Sharma)、筆者、通訳のシャキヤ氏(Mr.R.Shakya)、そして今回の調査を含め合計5郡での災害実態調査のとりまとめを依頼した



CDO事務所での聞き取り調査

コンサルタント会社のダカール氏（Mr.Rabin Dhakal）、同シャルマ氏（Ms.Bandana Sharma）の参加を得て実施しました。今回の調査の目的は昨年7月に発生した土砂災害の現象・状況を把握するとともに災害発生時に各機関がどのように情報を得て、どのような活動を実施したのかを現地にて確認することです。関係機関として、カスキ郡のDDRC（District Disaster Relief Committee：郡災害救援委員会）の長としてのCDO（Chief District Officer：郡知事。内務省からの派遣）、ネパール赤十字支部、赤十字と連携して応急活動を実施したNGO組織のWorld Vision事務所、政府機関（元王立組織）であるACAP（Annapurna Conservation Area Project）事務所を22日に訪問し、災害発生時の状況と対応、問題と思われる点などを聴取しました。



World Vision での聞き取り調査

土砂災害の発生したダンシン（Dangsing）VDC ネパネ（Nepane）地区はアンナプルナ山地のトレッキングルート上にあり、23日の現地調査は車両の通行可能な地点から片道約3時間かけて徒歩で現地に到着しました。当日はダンシンVDCにある赤十字サブコミッティ責任者のスレンドラ グルン氏（Mr.Surendra Grung）と同所のハルカ B. ロッカ氏（Harka B. Rokka）氏に同行していただきました。往路では同VDCのチェアマンにお会いすることができ、災害発生時の状況を聞くことが出来ました。

当該災害については、こちらでは「ランドスライド」として分類されますが、現象は急斜面上で発生した土石流で、勾配約40度の斜面で土砂移動が発生、土石流形態として流下し、斜面上に立地している人家を襲ったものと考えられます。この土石流によって7戸が流失し、28名の方が亡くなりました。ネパールにおける、被害が記録されたひとつのランドスライドとしては最大の死者数とのことです（DWIDPトラダール課長による）。



ネパネ地区土石流被災地全景

22日はカスキ郡のバンダの日にあたったため、カスキ郡の郡庁所在地であるポカラ市内にある関係機関へは徒歩での移動となりました。また24日はポカラからカトマンズまでの帰路は車両で移動しましたが、途中のムグリンで朝から午後までチャッカジャム（交通封鎖）により道路が封鎖され、我々は4時間程度足止めを食いました。現在、チトワン地方を含むタライ方面への陸上移動は非常に不確実になっていることを感じました。

主な出来事・トピック

開発調査「ナラヤンガート - ムグリン道路防災管理計画調査」のS/W, M/Mが合意・署名されました

本開発調査の事前調査団が1月中旬から調査の枠組みについてネパール側カウンターパートと協議を実施してきましたが1月31日にS/W(Scope of Works)とM/M(Minutes of

Meetings)が合意に達し署名を行いました。合意の内容は以下のとおりです。

(1) 調査名

「The Study on Disaster Risk Management for Narayangharh - Mugling Highway」

(2) 調査の成果

a.ハザードマップの作成、b.リスク管理に係る基本戦略の策定、c.いくつかの対象箇所におけるフィージビリティスタディ、d.ネパール側 CP 機関に対する技術的アドバイス

(3) 調査対象地域

a.ナラヤンガード - ムグリン道路及びその周辺地域、b.マルシャンディ発電所近くのルワ (Ruwa) 川流域

(4) 調査スケジュール

本格調査を 2007 年 6 月から 2008 年 12 月まで

(5) その他特記事項

a.ステアリングコミッティの設置、b.地すべりの恐れがある箇所のモニタリングを当初 (2007 年雨期開始前) はネパール側で実施

署名は JICA 本部地球環境部三村チーム長と DWIDP バッタライ局長 (Mr.N.P.Battarai) 入 DOR (道路局) のケーシー局長 (Mr.Durga Prasad K.C.) の 3 者で行われました。



左からケーシー局長、バッタライ局長、三村チーム長(DWIDP にて)

DWIDP が創設 8 周年を迎えました

2 月 7 日 (水) は 1999 年に DWIDP が創設されてから 8 年目にあたります。この日を記



挨拶をするバッタライ局長

念して DWIDP セミナーホールにて職員一同を集めて記念の式典が行われました。DWIDP は、日本の援助により設置され DPTC プロジェクトの技術移転の場となった治水砂防技術センター (DPTC) をネパール政府の組織としたものです。

式典ではバッタライ局長による挨拶のなかで、日本の協力への感謝が述べられました。なお、創設記念日はネパール暦で設定されているため、ネパール暦 Magh (10) 月 24 日は毎年同じですが、西暦に当てはめると毎年同じ日になるとは限らず、去年は西暦では 2 月 6 日でした。式典終了後にはランチボックスが配られ、職員同士、歓談する姿が見られました。

防災対策アドバイザー活動

UNDP を訪問しました

2 月 13 日に UNDP (United Nations Development Programme) の防災担当のラフル セングプタ氏 (Mr.Rahul Sengupta) を訪問し、UNDP の活動状況について聴取を行いました。同所スタッフのルドラ ネウパネ氏



UNDP セングプタ氏 (中央)

(Mr.Rudra Neupane) にも同席いただきました。UNDP の防災部門では現在 2 つのプロジェクトを実施しており、ひとつは災害に関するポリシーメイキングであり、他は災害のリスクリダクションに関するものとのこと。UNDP においては災害発生時に特に応急対策等を実施するというのではなく、事前の対策・準備がメインの活動とのこと。セングプタ氏は防災に関する会議やセミナーなどで積極的に発言・活動している方です。

編集後記

最近の朝の日課として自宅と職場の計画停電時間の確認があります。早朝から午前中に 3 時間、午後から夜に 3 時間(それぞれ 4 時間の場合あり)程度電気がとまりますので(週 1 日は無停電の日あり)これを考慮しパソコン使用等の予定を立てます。なお停電時間は地区で異なりますが 2 月中旬以降強化後のスケジュールは公表はされておらず自分で各曜日の停電時間をチェックしています(出張等のためまだ確認できていない日もあり)。昨年の実態だと、やっと停電一覧を完成できた頃に停電の強化等でスケジュールが変わるということがありました。当面はクリカニダムに水が貯まることを期待するしかないようです。

編集責任者：武士俊也

電話：+977-1-5535502 Fax：同-5523528 E-mail：dmspfu@wlink.com.np